

那覇の都市景観資源指定物件

指定番号	指定年度
1	1997

候補番号	候補年度
3	1993

名称
ガジュマル (リウエンマンション前)

所在地
壺川1丁目

所見 (候補当時)

官民協力の元、公園と一帯化された広場に保存されたガジュマルの巨木。



——老朽化に伴う伐採による指定解除——

指定番号	指定年度
2	1997

候補番号	候補年度
8	1993

名称
首里金城町の アカギ

所在地
首里当蔵町3丁目

所見 (候補当時)

守礼門から崎山馬場に抜ける道にある。現状のままで保存整備を望む。



指定番号	指定年度
3	1997

候補番号	候補年度
11	1993

名称
高良公園の ガジュマル群

所在地
高良1丁目

所見 (候補当時)

アシビナーのガジュマル群。地域のランドマークとなっている。



指定番号	指定年度
4	1997

候補番号	候補年度
13	1993

名称
ガジュマル (壺川のおおきな木)

所在地
壺川1丁目

所見 (候補当時)

壺川改良住宅地内に残された巨木。児童遊園のシンボルとなっている。



——伐採による指定解除——

指定番号	指定年度
5	1997

候補番号	候補年度
17	1993

名称
神原小学校の ビルマネムの木

所在地
樋川 2 丁目

所見 (候補当時)

存在感のある巨木である。この学校のシンボルツリーである。



指定番号	指定年度
6	1997

候補番号	候補年度
18	1993

名称
末吉の森

所在地
首里末吉町 1、 2 丁目

所見 (候補当時)

市内で唯一森林浴のできる公園の森、多くの鳥や昆虫が生息している。



指定番号	指定年度
7	1997

候補番号	候補年度
28	1993

名称

上間のフクギ

所在地

上間1丁目

所見（候補当時）

樹齢150年近くの老木。部落に残された数少ないフクギ並木の一部である。



指定番号	指定年度
8	1997

候補番号	候補年度
29	1993

名称

那覇市役所の
緑の群生

所在地

泉崎1丁目

所見（候補当時）

都心の中に安らぎと涼を与えてくれる。歩道との一体整備を望む。



——倒木による指定解除——

指定番号	指定年度
9	1997

候補番号	候補年度
31	1993

名称
安里公園の ガジュマル

所在地
字安里

所見（候補当時）

安里中通りのアイストップとなり、良好な街路景観を醸しだしている。



指定番号	指定年度
10	1997

候補番号	候補年度
32	1993

名称
新屋敷公園の ガジュマル群

所在地
泊3丁目

所見（候補当時）

数本のガジュマルが公園全体に覆い被さり夏の日差しを遮断してくれる。



指定番号	指定年度
11	1997

候補番号	候補年度
33	1993

名称
神原中学校の トックリキワタ 並木

所在地
樋川2丁目



所見（候補当時）

毎年ピンクの花を咲かせる緑の空間は季節感に溢れ潤いを与えてくれる。

指定番号	指定年度
12	1997

候補番号	候補年度
34	1993

名称
繁多川公園の ヤシ群

所在地
繁多川4丁目



所見（候補当時）

アレカヤシが密生している。南国情緒あふれる景観を醸しだしている。

指定番号	指定年度
13	1997

候補番号	候補年度
35	1993

名称
波の上自練前のヤシ群

所在地
辻2丁目



所見 (候補当時)

密生して植えられたワシントンヤシが良好な緑陰を形成している。

指定番号	指定年度
14	1997

候補番号	候補年度
38	1993

名称
福州園のガジュマル

所在地
久米2丁目



所見 (候補当時)

福州園内に保存されたガジュマル。移植されたが力強く根づいている。

指定番号	指定年度
15	1997

候補番号	候補年度
39	1993

名称
安謝川沿いの ユーナ並木

所在地
曙3丁目

所見（候補当時）

春には黄色い花を、夏には涼を提供してくれる散策道沿いの並木である。



指定番号	指定年度
16	1997

候補番号	候補年度
42	1993

名称
城岳小学校横の ガジュマル2本

所在地
楚辺2丁目

所見（候補当時）

楚辺地区のランドマークとして、歩道内に活かした道路整備が望まれる。



指定番号	指定年度
17	1997

候補番号	候補年度
48	1993

名称
夫婦瀬

所在地
若狭3丁目



所見 (候補当時)

元は海に浮かぶ4つの岩で下の方がくびれた形となっている。民話が残る。

指定番号	指定年度
18	1997

候補番号	候補年度
52	1993

名称
波の上海岸

所在地
若狭1丁目



所見 (候補当時)

市内で数少ない自然形態を残した海岸線。市民の憩いの広場となっている。

指定番号	指定年度
19	1997

候補番号	候補年度
55	1993

名称
三重城の干瀬

所在地
西3丁目

所見 (候補当時)

数少ない貴重な干瀬。古の時代、那覇が浮島であったことを想起させる。



指定番号	指定年度
20	1997

候補番号	候補年度
76	1993

名称
ユーチヌサチ

所在地
若狭2丁目

所見 (候補当時)

約250年前の文献にも登場する。前は岬であったが僅かに岩が残っている。



指定番号	指定年度
21	1997

候補番号	候補年度
77	1993

名称
虎頭山と虎の口

所在地
首里赤平町2丁目

所見（候補当時）

遠方からは虎の頭、近くからは虎の口に見える岩山。昔の首里八景の一つ。



指定番号	指定年度
22	1997

候補番号	候補年度
82	1993

名称
上の毛

所在地
字安次嶺 赤嶺1丁目

所見（候補当時）

米軍によって接収されたが、神聖な杜の景観をよく残している。



指定番号	指定年度
23	1997

候補番号	候補年度
88	1993

名称
軽便鉄道の レール

所在地
壺川1丁目

所見（候補当時）

軽便鉄道の歴史を甦らせる貴重な存在価値を持つ。



指定番号	指定年度
24	1997

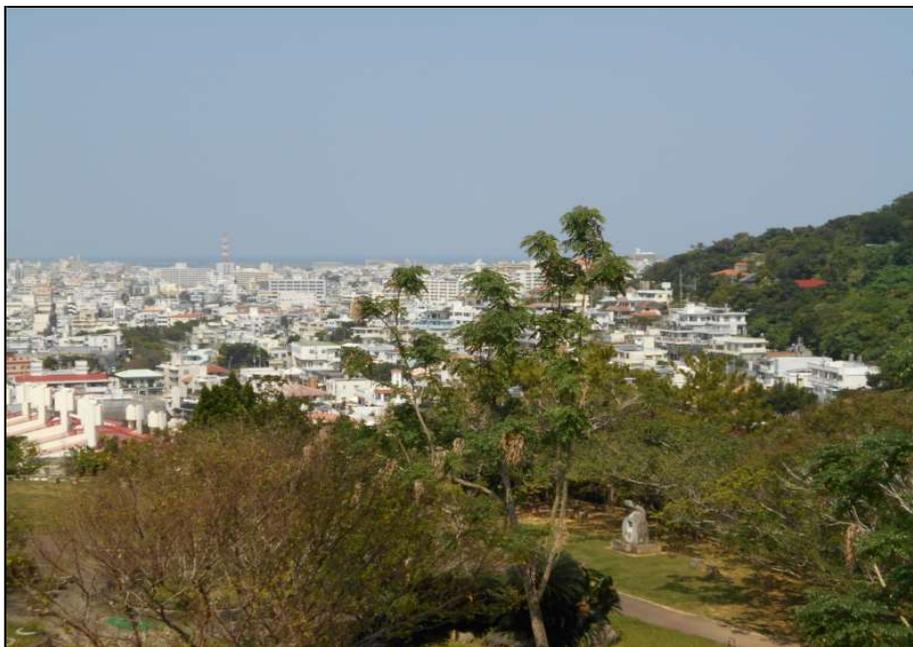
候補番号	候補年度
93	1993

名称
末吉公園から 市街地と海を 望む

所在地
首里末吉町1丁目

所見（候補当時）

豊かな自然が残る末吉の森と、市街地や海を望む構図が美しい。



指定番号	指定年度
25	1997

候補番号	候補年度
94	1993

名称
泊大橋から 四方八方を 見渡す

所在地
泊港

所見（候補当時）

波之上・慶良間の自然景観と首里城と市街地が、360度展望できる。



指定番号	指定年度
26	1997

候補番号	候補年度
96	1993

名称
若狭海岸から 波之上海岸を 望む

所在地
若狭1丁目

所見（候補当時）

自然景観の残る波之上と人工ビーチや遠くは慶良間諸島が望める。



指定番号	指定年度
27	1997

候補番号	候補年度
97	1993

名称
がじゃんびら公園 から四方八方を 見渡す

所在地
金城1丁目

所見（候補当時）

軍港・御物城・市街地・首里城・慶良間・小禄金城の町並みが一望できる。



指定番号	指定年度
28	2008

候補番号	候補年度
101	1997

名称
曙公園の ビルマネムの木

所在地
曙2丁目

所見（候補当時）

地域住民に木陰と憩いの場を与え、緑の少ない地域における景観木。



指定番号	指定年度
29	2008

候補番号	候補年度
104	1997

名称
國場の トックリキワタ

所在地
字国場

所見（候補当時）

通りのアイストップとなるシンボルツリーである。



指定番号	指定年度
30	2008

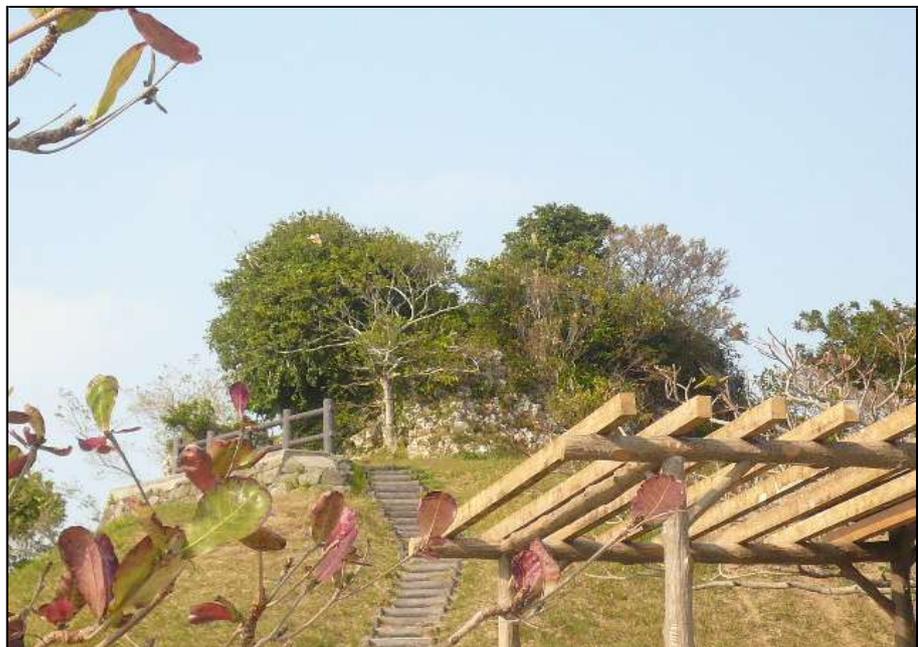
候補番号	候補年度
115	1997

名称
大石森公園の 大石

所在地
識名1丁目

所見（候補当時）

小高い丘の天辺に見える大きな岩は、地域のランドマーク。



指定番号	指定年度
31	2008

候補番号	候補年度
129	1997

名称
田原公園の ウワーフル

所在地
田原3丁目

所見（候補当時）

ウワーフルは生活文化の歴史を知るうえで大切なものである。



指定番号	指定年度
32	2008

候補番号	候補年度
131	1999

名称
壺屋小学校の センダンの木

所在地
牧志3丁目

所見（候補当時）

壺屋小学校のシンボリック的存在であり、学校を巣立った生徒たちの様々な思い出がこもっている貴重な資源。



指定番号	指定年度
33	2008

候補番号	候補年度
139	1999

名称
識名霊園の 樹木群

所在地
識名2丁目

所見（候補当時）

中央広場の樹木群は地域の人々に想いの場を提供している。



指定番号	指定年度
34	2008

候補番号	候補年度
145	1999

名称
松山公園の ガジュマル

所在地
松山1丁目

所見（候補当時）

緑の広がり、抱擁力を感じさせ風格がある。緑のオアシスに相応しい巨木である。



指定番号	指定年度
35	2008

候補番号	候補年度
146	1999

名称
市道泉崎楚辺線の並木

所在地
泉崎2丁目



所見（候補当時）

ピンク色に咲く満開の花が美しい。夏場は緑陰を提供し快適な道路空間を形成。

指定番号	指定年度
36	2008

候補番号	候補年度
153	2001

名称
安岡ガジュマル公園のガジュマル

所在地
銘苅3丁目



所見（候補当時）

新都心地区内の公園内に保全された素晴らしいガジュマル群。

指定番号	指定年度
37	2008

候補番号	候補年度
168	2003

名称
崇元寺公園の ガジュマル

所在地
泊1丁目

所見（候補当時）

巨大な緑陰は、訪ねる人を昔のゆるやかな時の流れへと誘い、安らぎを与えてくれる。



指定番号	指定年度
38	2008

候補番号	候補年度
178	2003

名称
首里金城町の 大アカギ

所在地
首里金城町3丁目

所見（候補当時）

200年以上もの間、戦乱や天災を耐えしのできた巨木。このアカギは歴史的景観に彩りを添えている。



指定番号	指定年度
39	2008

候補番号	候補年度
180	2003

名称
銘苅古墓群 周辺地域

所在地
銘苅2丁目



所見（候補当時）

銘苅川を挟んで兩岸の崖下に並ぶ古墓群は、墓の変遷がわかる貴重な景観資源。

指定番号	指定年度
40	2008

候補番号	候補年度
181	2003

名称
伊是名殿内の墓

所在地
銘苅2丁目



所見（候補当時）

石垣の囲いに角柱があり、王子級の墓ではないかと言われている。又開発が進む中、昔日の地形を残した静かな空間となっている。

指定番号	指定年度
41	2009

候補番号	候補年度
26	1993

名称
おもろまち (繁多川)の トックリキワタ

所在地
おもろまち4丁目

所見 (候補当時)

南米から種を持ちかえり育てられた木で、樹齢約30年近くになる巨木。



指定番号	指定年度
42	2009

候補番号	候補年度
36	1993

名称
崇元寺前の ホウオウボク

所在地
泊1丁目

所見 (候補当時)

枝ぶりの良いホウオウボクと崇元寺石門がうまく調和している。



指定番号	指定年度
43	2009

候補番号	候補年度
134	1999

名称
真地小公園の ホウオウボク

所在地
字真地

所見（候補当時）

無味乾燥になりがちな街路空間にホウオウボクが潤いを与える。



指定番号	指定年度
44	2009

候補番号	候補年度
41	1993

名称
壺屋（南又窯）前 ガジュマル群生

所在地
壺屋1丁目

所見（候補当時）

小鳥のさえずりや自然を十分感じさせてくれる都心のオアシス。



指定番号	指定年度
45	2009

候補番号	候補年度
63	1993

名称
東ヌカー

所在地
壺屋1丁目

所見 (候補当時)

ガジュマルの大木と共に今でもこんこんと湧き出る水。崇敬を集めている。



指定番号	指定年度
46	2009

候補番号	候補年度
84	1993

名称
壺屋の御嶽

所在地
壺屋1丁目

所見 (候補当時)

那覇の戦後の復興の中心地にある、大正時代末ごろからのウタキである。



指定番号	指定年度
47	2009

候補番号	候補年度
23	1993

名称
県立芸大第3 キャンパスの ガジュマル

所在地
首里金城町3丁目

所見（候補当時）

ゲート広場のヒンプンの役割はたしている巨木である。



指定番号	指定年度
48	2010

候補番号	候補年度
19	1993

名称
首里金城町の フクギ屋敷林

所在地
首里金城町2丁目

所見（候補当時）

伝統的な街並みの中で歴史的景観を醸しだしている貴重なフクギである。



指定番号	指定年度
49	2010

候補番号	候補年度
155	2001

名称
字二中前の ビルマナムノキ

所在地
泉崎2丁目

所見（候補当時）

緑の少ない駐車場に緑陰を提供し、地域のシンボルツリーである。



——倒木により指定解除——

指定番号	指定年度
50	2010

候補番号	候補年度
156	2001

名称
那覇高校正門の ガジュマル

所在地
松尾1丁目

所見（候補当時）

半円形をした樹形は素晴らしく、生徒達の憩いの場でもあり、存在感のあるガジュマル。



指定番号	指定年度
51	2010

候補番号	候補年度
163	2001

名称
金城ダム

所在地
繁多川4丁目

所見（候補当時）

市民に親しめる水辺空間が憩いの場所を提供している。



——所有者の意向により指定解除——

指定番号	指定年度
52	2010

候補番号	候補年度
176	2003

名称
興南高校のガジュマル

所在地
古島1丁目

所見（候補当時）

学園のシンボルツリーで、モノレール軌道上からの樹形が美しい景観木。



——台風倒木による指定解除——

指定番号	指定年度
53	2011

候補番号	候補年度
14	1993

名称
アンデレ教会の ガジュマル

所在地
首里真和志町 1丁目

所見（候補当時）

辻空間を創出している巨木である。歴史の道の景観に調和している。



指定番号	指定年度
54	2011

候補番号	候補年度
25	1993

名称
ハーバービュー ホテルの ガジュマル

所在地
泉崎2丁目

所見（候補当時）

玉城城跡より移植した樹齢150年の老木。ホテルのシンボリック的存在である。



指定番号	指定年度
55	2011

候補番号	候補年度
49	1993

名称
繁多川の 大川と松

所在地
繁多川2丁目

所見（候補当時）

良く手入れされている。道路角にあり松の木と共に一体整備が望まれる。



指定番号	指定年度
56	2011

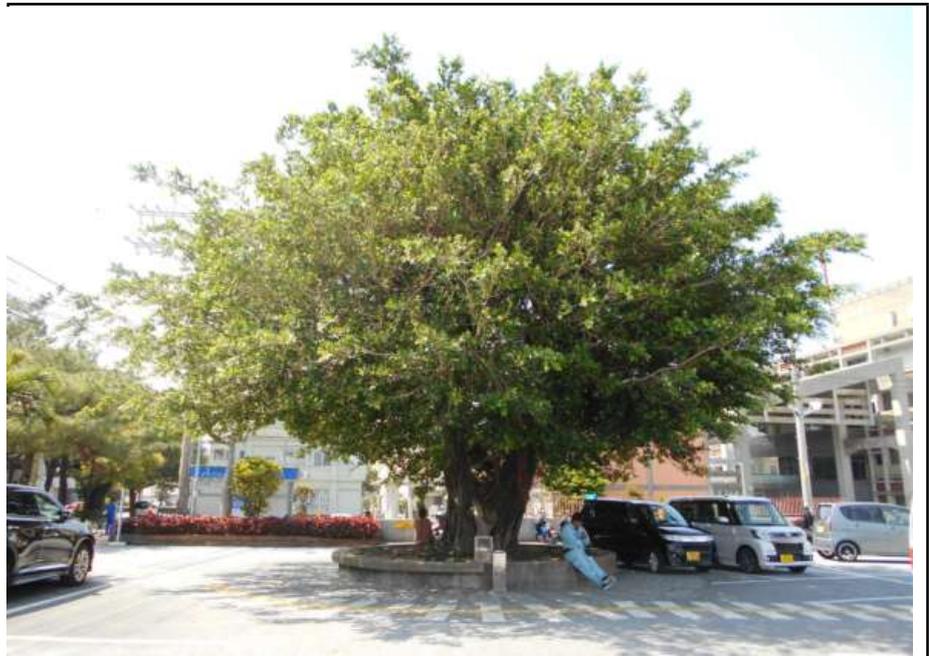
候補番号	候補年度
177	2003

名称
楚辺真地原の ガジュマル

所在地
楚辺1丁目

所見（候補当時）

閑散とした駐車場内に、守られ残されたガジュマルは、地域へやすらぎ空間を提供している。



指定番号	指定年度
57	2015

候補番号	候補年度
171	2003

名称
真嘉比古島区画 整理地内の 街路樹

所在地
真嘉比、古島



所見（候補当時）

街路樹として植栽されたフィッカスハワイは、トンネル状に成長し、通りに安らぎと潤いを与えている。

指定番号	指定年度
58	2016

候補番号	候補年度
136	1999

名称
新崎家の ヒンプン ガジュマル

所在地
繁多川4丁目



所見（候補当時）

まち角のシンボリック存在のガジュマルの巨木。

指定番号	指定年度
59	2016

候補番号	候補年度
83	1993

名称
小禄金城公園の 御嶽

所在地
金城3丁目

所見（候補当時）

小禄金城公園内の一番高いところにある見晴らしのよい御嶽。



指定番号	指定年度
60	2016

候補番号	候補年度
100	1997

名称
山川児童公園の 岩と樹木

所在地
首里山川町2丁目

所見（候補当時）

R Cの家々の囲いから、遠い昔に放されたような安堵感を与える。



指定番号	指定年度
61	2017

候補番号	候補年度
99	1997

名称
沖縄女子短大前の 並木

所在地
長田2丁目 字国場

所見（候補当時）

並木は、強い日ざしの中で緑と赤のコントラストがあざやかである。



指定番号	指定年度
62	2017

候補番号	候補年度
132	1999

名称
牧志西御嶽 (牧志北公園) の 樹木群

所在地
牧志2丁目

所見（候補当時）

コンクリートの建物が立ち並ぶ中心市街地の中であって、そこは都心の緑のオアシス。



指定番号	指定年度
63	2017

候補番号	候補年度
169	2003

名称
泊北公園の ガジュマル

所在地
泊1丁目



所見（候補当時）

自ら意志があるかのように伸びた樹形は、地域のシンボルであり、公園に涼しげで豊かな空間を造っている。

指定番号	指定年度
64	2018

候補番号	候補年度
68	1993

名称
首里寒川町の ヤージョーと 石垣

所在地
首里寒川町1丁目



所見（候補当時）

首里王府時代の御殿の屋敷囲いを彷彿させる。首里の景観形成に貴重。

指定番号	指定年度
65	2018

候補番号	候補年度
124	1997

名称
ミーヌシンと 樹木

所在地
字鏡水

所見（候補当時）

15世紀初頭に建立され、その後、改築された信仰の場所。



指定番号	指定年度
66	2018

候補番号	候補年度
133	1999

名称
山川自治 公民館の ガジュマル

所在地
首里山川町1丁目

所見（候補当時）

樹齢約50年、地域に涼観を与えて来た老木。



指定番号	指定年度
67	2018

候補番号	候補年度
148	1999

名称
玉那覇味噌醤油 工場の石垣

所在地
首里大中町1丁目

所見（候補当時）

赤瓦屋根と石垣、それを這うツタとの調和が素晴らしく、古都首里を彷彿させる。



指定番号	指定年度
68	2019

候補番号	候補年度
50	1993

名称
上間ガーと 村グムイ

所在地
上間1丁目

所見（候補当時）

カーは地域の人々に大切に利用されている。市内に残る唯一の村グムイ。



指定番号	指定年度
69	2019

候補番号	候補年度
53	1993

名称
繁多川の ハンタガーと ガジュマル

所在地
繁多川2丁目

所見（候補当時）

地名の由来となった井泉である。



指定番号	指定年度
70	2019

候補番号	候補年度
86	1993

名称
安次嶺の シーサー

所在地
字安次嶺

所見（候補当時）

約300年前につくられ、戦世を生き抜いた歴史を感じさせる。



指定番号	指定年度
71	2020

候補番号	候補年度
7	1993

名称
首里高校正門の緑の群生

所在地
首里真和志町2丁目

所見（候補当時）

幾代もの歴史を見守ってきた、古都首里の風格を感じさせる緑の群生



指定番号	指定年度
72	2020

候補番号	候補年度
71	1993

名称
安次嶺之御嶽と樹林

所在地
上間1丁目

所見（候補当時）

ガジュマルやアコウ等御嶽を囲むように生えている。眺望も良し。



指定番号	指定年度
73	2021

候補番号	候補年度
6	1993

名称
壺川の国場川辺の アコウ

所在地
奥武山町53-15



所見（候補当時）

琉球石灰岩に生息した見事なアコウの巨木である。

指定番号	指定年度
74	2022

候補番号	候補年度
46	1993

名称
石田ガー

所在地
繁多川5丁目



所見（候補当時）

石田原にあるのでこの名がついた。この地区で一番古いカー。

指定番号	指定年度
75	2022

候補番号	候補年度
57	1993

名称
繁多川のボーシ ガー

所在地
繁多川2丁目



所見（候補当時）

この名の由来は近くに寺があったのでついた。中には広い洗濯池がある。

指定番号	指定年度
76	2023

候補番号	候補年度
78	1993

名称
登野城之御嶽と樹 木

所在地
字国場390-1・391-1



所見（候補当時）

アカギやセンダン等の大木が林を形成している。県道との一体整備を望む。

指定番号	指定年度
77	2024

候補番号	候補年度
45	1993

名称
宇栄原クシヌカー

所在地
宇栄原 3-157-1

所見（候補当時）

手入れの行き届いたカーである。ニービに梵字を刻んだ碑あり貴重。



指定番号	指定年度
78	2024

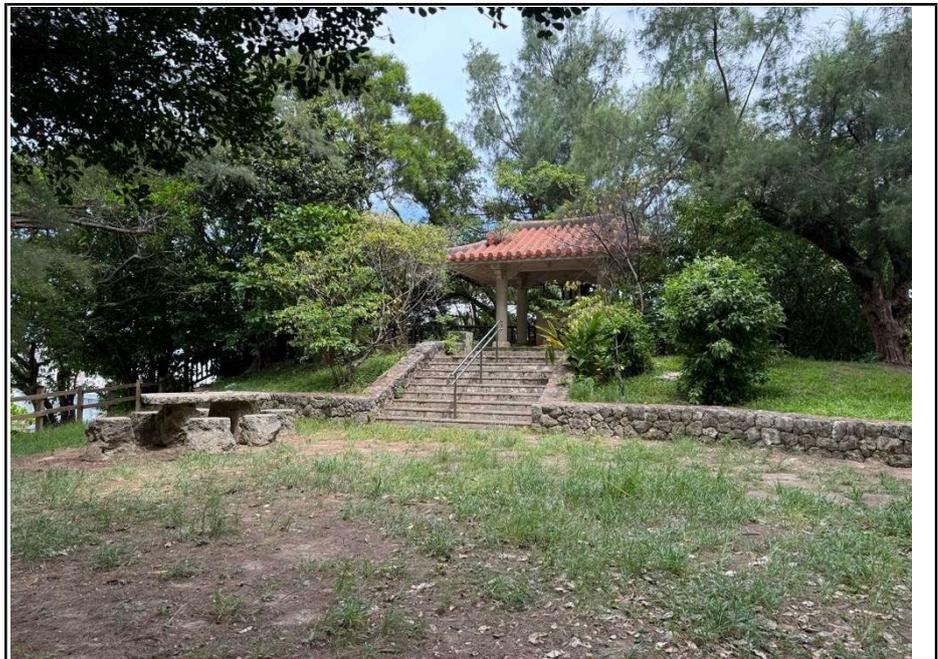
候補番号	候補年度
87	1993

名称
下又御嶽

所在地
高良2-73

所見（候補当時）

昔、宇栄原武士が力比べをした場所。モクマオウ林が木陰を与えている。



指定番号	指定年度
79	2025

候補番号	候補年度
123	1997

名称
前又毛小御嶽

所在地
上間1-32



所見（候補当時）

昔この地で雨乞いを行ない大雨が降ったことで、御嶽が建設された。

指定番号	指定年度
80	2025

候補番号	候補年度
127	1997

名称
シムンターバンタ

所在地
字上間当り原141-1



所見（候補当時）

眼下に一日橋が見え与那原、大里などの南部一円が一望できる。